

集落データ調査について

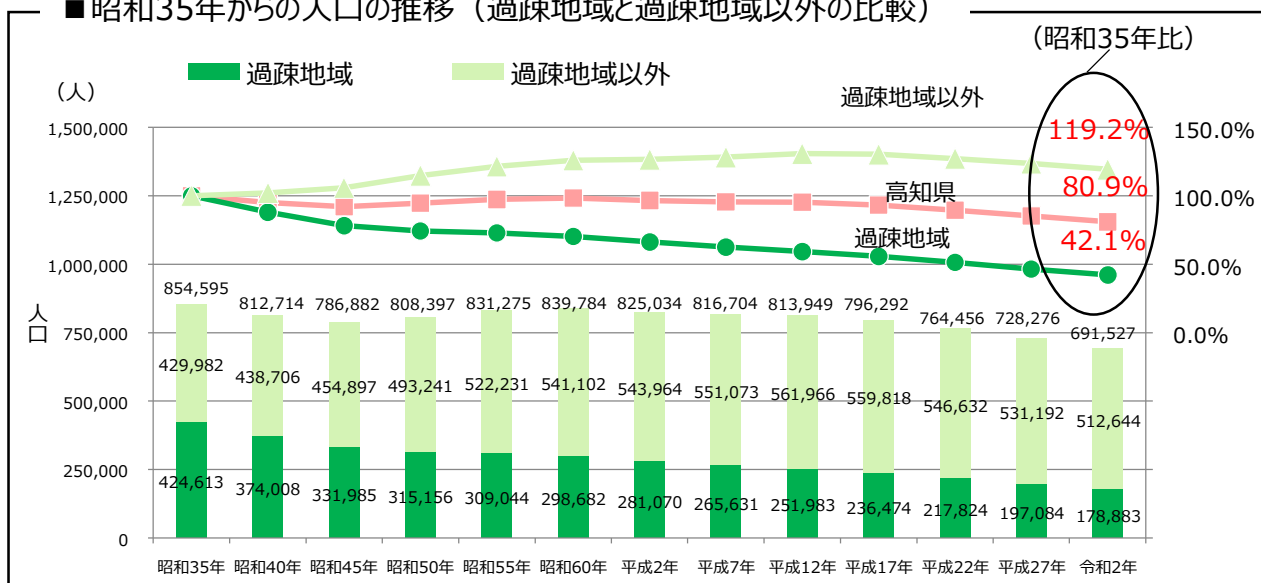
集落データ調査は、国勢調査の結果をもとに、県内の全集落の人口や世帯数の動向をデータで把握することにより、集落の現状や課題を明らかにし、中山間対策をはじめ、様々な施策づくりの基礎資料とするもの。（令和2年国勢調査結果を基に再整理）

1 人口の推移と高齢化の状況

(1) 人口の推移

- 本県の人口は691,527人、平成27年と比べ36,749人（△5.0%）減少している。
- 過疎地域では、昭和35年以降、人口減少が続いている。（昭和35年比：△245,730人、△57.9%）
- 平成27年からの5年間でも、△18,201人（△9.2%）と県平均を上回る減少率となっている。

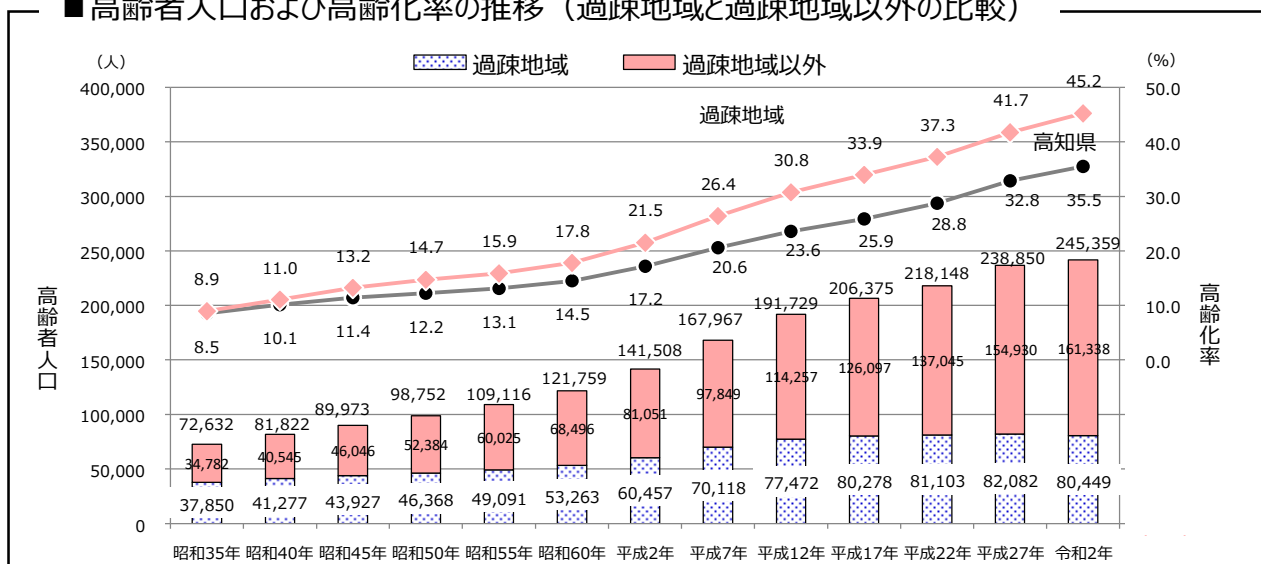
■ 昭和35年からの人口の推移（過疎地域と過疎地域以外の比較）



(2) 高齢化の状況

- 県全体の高齢化率は35.5%で、平成27年と比べ2.7ポイント上昇している。（全国で2番目に高い。全国平均28.6%）
- 過疎地域の高齢化率は45.2%で、平成27年と比べ3.5ポイント上昇している。

■ 高齢者人口および高齢化率の推移（過疎地域と過疎地域以外の比較）



※過疎地域の高齢化率は年齢不詳を除いて算出

2 集落の状況

(1) 集落数の推移

- 県全体の集落数は、2,522集落で、微減となっている。(平成27年比：△9集落、△0.4%)
- 昭和35年の集落数(2,630集落)と比較すると、この60年の間に108集落減少している。
- 前回調査(H27)に比べ、9集落減少(減少数16、増加数7)。

内訳：減少 16 = 15 (人口がゼロになった集落) + 1 (統計上の集落区分の統合)
 増加 7 = 2 (人口が1以上になった集落) + 5 (統計上の集落区分の分割)

■集落数の推移

(単位：集落)

	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
集落数	2,630	2,558	2,549	2,556	2,540	2,602	2,578	2,609	2,537	2,531	2,537	2,531	2,522
増減(対前回比)	-	▲72	▲9	7	▲16	62	▲24	31	▲72	▲6	6	▲6	▲9

※県全体の集落数には旧高知市分の171集落を含む
 ※集落数は、統計上の集落区分の統合、分割による増減を含む

(2) 集落の人口増減

- 平成22年から令和2年までの間に、人口が増加した集落は250集落(10.7%)、人口が減少した集落は2,091集落(89.3%)となっている。

■集落の人口増減率別分類

(単位：集落)

	平成22年～令和2年		
	集落総数	減少集落数	増加集落数
高知県計	2,341	2,091	250
中山間地域	1,891	1,724	167

※旧高知市分の171集落を除く
 ※集落の統合や分割により経年比較できない集落(10集落)を除いているため、(3)の集落数と一致しない
 ※人口が増加した集落数には、増減に変化がない集落を含む

(3) 集落の世帯数の推移

- 世帯数が19世帯以下の集落は、745集落で、平成22年から令和2年までの間に94集落(+14.4%)増加している。
- 平成27年からの5年間でも、世帯数が19世帯以下の集落は、51集落(+7.3%)増加している。

■世帯数別集落数及び割合

(単位：集落、%)

	平成22年		平成27年		令和2年	
	集落数	構成比	集落数	構成比	集落数	構成比
全体	2,366	100.0	2,360	100.0	2,351	100.0
19世帯以下	651	27.5	694	29.4	745	31.7
9世帯以下	246	10.4	288	12.2	324	13.8

まとめ

- 過疎地域では、昭和35年以降人口減少が続いており、この5年間でも県全体の人口減少(△5.0%)を上回る9.2%の減少となっている。
- 高齢化率についても、この5年間で3.5%上昇し、45.2%となり、過疎地域の高齢化はさらに進んでいる。
- 県内の集落数は、2,522集落(△9集落、△0.4%)で、前回調査に比べ微減にとどまっている。一方で、世帯数が19世帯以下の集落が増加しており、集落の小規模化が引き続き進んでいる。